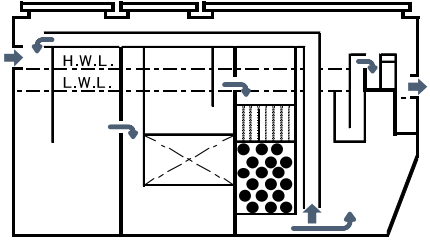


# 事例 4 3 過去の申し送り事項の検証による水質改善事例

## 1. 基本情報および概要図


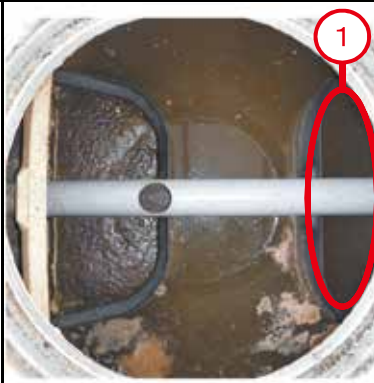
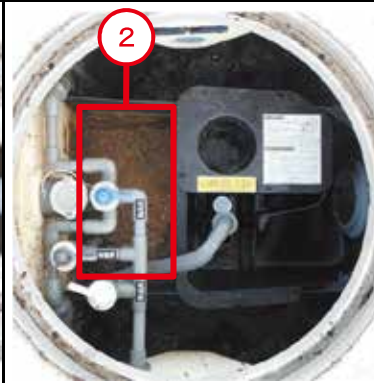
処理方式	性能評価型 窒素除去型	作業予定月	
メーカー／型式	フジクリーン工業㈱／CE型	清掃	10月
人槽／使用人員	5人槽／3人使用	保守点検	12・4・8月
日平均汚水量	0.83m <sup>3</sup> /日	法定検査	6月

法定検査時の設定状況(平成27年6月19日)			概要図 
	メーカーの基本設定	保守点検の設定	
循環水量 L.W.L.時	2Q~4Q (1.2~2.3 L/分)	0.0 L/分	
放流バルブ開度	40%	90%	
CE型の特徴			
ピークカット機能	L.W.L.時とH.W.L.時の槽内水位差5cm		
逆洗	散気バルブの切替操作		
放流バルブ	2次処理の攪拌水流を調整できる		

## 2. 過去の申し送り事項の検証と結果

年度	検査種別	検査日	放流水透視度(度)	DO(mg/L)	1次処理			放流バルブ開度(%)	循環水量(L/分)	法定検査の判断と申し送り事項
					流出水透視度(度)	1室スカム厚(cm)	1室堆積汚泥厚(cm)			
平成25年度	法定	6月11日	<u>18</u>	7.4	9	2	9	40	2.8	判断: 生物膜が未生成 1次処理の固液分離機能低下
	保守	8月19日	<u>19</u>	6.1	12	3	12	80	1.5	申し送り事項: 攪拌水流を弱くする 循環水量を少なくする <input checked="" type="checkbox"/>
平成26年度	法定	6月23日	<u>15</u>	5.5	12	2	12	80	1.0	判断: 生物膜が未生成 1次処理の固液分離機能低下
	保守	8月18日	<u>21</u>	4.2	16	5	14	90	0.0	申し送り事項: 更に攪拌水流を弱くする 循環水を停止する <input checked="" type="checkbox"/>
平成27年度	法定	6月19日	<u>25</u>	4.1	21	7	21	90	0.0	判断: 2次処理機能低下(汚泥多い)
	保守	8月27日	<u>38</u>	3.8	26	8	23	90	0.6	申し送り事項: 強制攪拌の実施(2次処理) 2次処理底部汚泥の移送 循環水を稼働する <input type="checkbox"/>
	清掃	10月13日	<u>36</u>		33	13	26	90	0.3	
	保守	12月2日	<u>48</u>	4.5	38	2	10	90	0.3	

## 3. 槽内写真(法定検査時;平成27年6月19日)

流入 ➡	1次処理1室 	1次処理2室 	2次処理/処理水槽 	➡ 放流
	固液分離機能の向上により 26年度よりスカムは多い	1次処理流出水透視度 ① 26年度法定検査時12度→21度	堆積汚泥が多いことにより スカムは2cm浮上 ② ※撮影のため消毒筒は取り外しています	

#### 4. 透視度低下の原因対策と保守点検への申し送り事項

処理水槽の堆積汚泥		対策方法	
			
原因	循環水の停止により 堆積汚泥が多い 堆積汚泥厚 25cm	L.W.L.時に循環水量 0.6L/分 1次処理底部汚泥の巻き上げを 抑える	H.W.L.時に循環水量 3.2L/分 風呂水など流入水が多い時に 水位は5cm上昇し水量が増える
申し送り 事項 (27年度)	逆洗と強制攪拌(2次処理)を実施して下さい 2次処理の底部汚泥を移送して下さい 循環水量を0.6L/分(L.W.L.時)に稼働して下さい		

#### 5. 保守点検からの措置報告

測定値	(1)措置・状況確認 平成 27年 6月 22日
放流水透視度(度)	25 申し送りとおり措置と調整を実施しました
測定値	(2)措置・状況確認 平成 27年 7月 3日
放流水透視度(度)	32 放流水透視度は改善しました
循環水量(L/分)	0.6 処理水槽堆積汚泥厚25cm→12cmに減少しました

#### 6. 保守点検から清掃への申し送り事項

- 1) 2次処理、堆積汚泥の引抜きを実施して下さい
- 2) 循環水量を0.6L/分→0.3L/分に変更して下さい
- 3) 放流バルブ開度90%から変更しないで下さい

#### 7. 清掃時の留意点

- 1) CE型は、1次処理1室から汚泥の引出しを行うと2室の水位も同時に下がるため、ろ材のある2室から引出しを実施する
  - 2) 2次処理は逆洗と併せ強制攪拌を実施することで汚泥の剥離効果が高い
  - 3) 循環水量はL.W.L.時に測定する
- 【1次処理】 1室:ろ材無し 2室:骨格様球状ろ材  
 【2次処理】 上部:板状接触材 下部:へチマ様円筒状ろ材